



第168号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12
電話 ☎ 0561-73-1111(代)

「学生の視点にたち 教育内容の充実を」

学院長 小出 忠孝

新年明けましておめでとう
ございます。平成22年の新春
を皆様にはお健やかに迎えら
れたことと、心よりお慶び申
上げます。

愛知学院は本年創立134
周年を迎え、中部地区で最も
古い歴史と伝統をもつ私学で
あります。大学は開学56年



すが、将来の高等教育の重要
性を予見して、東海地区で最
とも早く新制大学を創設し、
以来私立大のリーダー校とな
っています。現在私は日本私
立大学協会の副会長、中部支
部長に選任され、私大のリー
ダーの一人として私学振興に
努めています。本学は現在8
学部17学科、大学院8研究科
短大部に学生1万2千名を擁
する中部で最大級の規模と内
容を誇る私立の総合大学とな
り、社会的責任は大きいので

【高等教育の重要性】
現在わが国では一昨年突発
した金融危機による経済不況
に加え、グローバル化、情報
化、少子高齢化を背景に社会
構造全体が大きく変化する中、
昨夏政権交代が行なわれ先行
きの見通しが不透明でありま
す。しかし本格的な知識基盤
社会の到来により、高等教育
を受けた人材の必要性は益々
大となり、豊かな教養と専門
的能力を身につけ社会に貢献

する「21世紀型市民」を育成
する大学の責任は大でありま
す。しかし18才人口減少によ
る大学全入時代を迎え学生の
学力低下に対し、中央教育審
議会では先年「学士課程教育
の構築」の答申を発表し、各
大学に「学位授与」「教育課
程」「入学者受入れ」の三つ
の方針の明確化と士力の強
化を強く要請しました。さら
に昨夏には「中・長期的な大
学教育のあり方」の諮問に対
する審議経過を発表し、各大
学に多様なニーズに対応する
大学教育の質の向上のため、
公的な保証システムの構築
と教育情報の一層の公表を要
請しています。この様に教育
の質の向上と保証に努める様
に求めている、本学も社会の
要請に応える責任があります。

【「教育研究の充実」】
本学は文科省の科研費補助
金が、歯学部を中心として中
部の私大第一位で、本学の
研究の充実を示しております。
一方、文科省が新設した「戦
略的大学連携支援プログラム」
に、心身科学部健康科学科が
中心となり愛知医大、県立大
看護学部と連携し「生活習慣
病予防教育体制の構築」のプ
ログラムが採用され特別研究
助成を受けています。同様に
薬学部でも名古屋市大東海四
県の国公私立の薬大と連携し「臨
床教育の充実」のプログラム
が採用されましたが、地域の
大学が国公私立の枠を越えて
連携し、その地域の教育研究
水準の高度化を目的とした研
究助成で、本学が東海地域の
中核大学と認められたもので、
その責任は大であります。

【「私学の厳しい環境」】
現在わが国は18才人口が1
20万人へ減少する中で、大
学数は250校増加したため
大学全入時代を迎え、さらに
志願者が東京、関西の大規模
校に集中するため、266校
(47%)が定員割れとなって
います。そのため単年度の学
納金収入等で経常的な支出を
まかなえない法人(赤字校)
は182校(35%)と増加し
ています。この様に私学を取
巻く厳しい環境の中で大学と
して最も重要な事は、学生に
とって「魅力ある大学」、「満
足出来る大学」にする為に、
教育内容を充実強化する事
です。しかも従来の「何を教
えるか」の教師の立場に立つた
ものから、「何を学ぶことが
出来るのか」の学生の視点に
立つた教育への転換が必要で
す。「学生がどの様なカリキ
ュラムに基づいて、どの様な知
識・能力を身に付ける事が出
きるか」を明らかにし、学習
目的、学習成果の明確化、単
位制度の実質化、成績評価の
厳格化等、学習成果の向上を
計り、社会の期待に応える学
力を具えた人材を育成する努
力が重要です。同時に新入生
に対する初年次教育、就職に
備えてキャリア教育等に全力
を注いでいく事も肝要です。

【「教育環境の改善」】
昨年、新学生会館(さくら
ホール)新設に次いで第一食
堂の改造新築工事が完成し、
三階建てのレストラン・多目
的ホール(けやきホール)が
スタートし、学生のキャンパ
スライフを一層快適にしてい
ます。さらに昨夏より一号館
前に教学センター新築工事を
開始しましたが、学生に一番
重要な教務部と学生部をキャ
ンパスの中央に新築移設する
もので、今夏に完成予定で学
生の利用が大変便利になりま
す。次いで学生保健センター
を現電算センターの建物に移
転し、学生の心身両面の保健
活動を一層充実させます。ま
た補元校地では図書館情報セ
ンターの耐震リニューアル工
事の完了に次いで、4号館(専
門学校棟)の改築工事を始め
ます。薬学部の大学院博士課
程設置に伴う研究室の増強、
2・4号館改築に伴う歯科衛
生学科、技工専門学校の一部
移転、保健室、学生食堂等を

予定しており、教育環境の一
層の改善に努めます。

愛知学院生よ夢を持とう

後援会 会長 湯澤 信雄



スを維持し、また昨年は法科
大学院より初めて4名の司法
試験合格者を輩出し、名実共
に中部のリーダーとなる大学
に発展しました。

新年明けましておめでとう
ございます。大学教職員の皆
様方、大学後援会会員の皆様
方には、つつがなく新春をお
迎えのこととお慶び申し上げ
ます。おかげさまで後援会も
昨年、メインの活動でありま
す支部懇談会を各支部長様、
会員の皆様のご協力で全国26
会場で開催し、また多数の会
員の方のご参加を頂き、実り
のある支部懇談会とすることが
出来ました。この支部懇談
会で皆様から拝聴いたしまし
たご意見等は、大学側と協議
して私達の子供達がより良い
環境で充実した学生生活を送
れるよう生かしていきたいと
思っております。その他、「大
学だより」の発行、教育部関
係の助成、クラブへの助成、
クラブ優勝祝賀会、施設厚生
部関係の助成等、昨年5月の
総会でご決議いただいた事業
を順調に進めております。



賀正

【「高齡化社会に対応」】
本学は創立以来、社会のニ
ーズに応え高度成長時代には
商・経・法等社会系学部の充
実に努めました。近年の高
齡化社会に対しては薬学部、
健康科学科、健康栄養学科、
大学院健康科学研究科を新設
してきました。昨年は大学院
薬科学研究科、短大歯科衛生
学科専攻科を新設しましたが、
今春には大学院に健康科学専
攻の博士課程を増設します。
さらに来年は六年制薬学部の
上に大学院薬学研究科(四年
制博士課程)新設準備を進め
ます。一方、昨春薬学部は第
一回生が薬剤師国家試験で日
本一の合格率を、また歯学部
では歯科医師国家試験で昨年
一昨年と二年連続日本一の成
績を、歯科衛生学科では第一
回生全員が国家試験合格の成
績をあげ、本学の教育の優秀
さを全国に示しました。この
様に本学では従来の社会系学
部と共に、医療系分野の充実
に特色を持ち、高度の指導的
人材の育成に努めています。

【「教育環境の改善」】
昨年、新学生会館(さくら
ホール)新設に次いで第一食
堂の改造新築工事が完成し、
三階建てのレストラン・多目
的ホール(けやきホール)が
スタートし、学生のキャンパ
スライフを一層快適にしてい
ます。さらに昨夏より一号館
前に教学センター新築工事を
開始しましたが、学生に一番
重要な教務部と学生部をキャ
ンパスの中央に新築移設する
もので、今夏に完成予定で学
生の利用が大変便利になりま
す。次いで学生保健センター
を現電算センターの建物に移
転し、学生の心身両面の保健
活動を一層充実させます。ま
た補元校地では図書館情報セ
ンターの耐震リニューアル工
事の完了に次いで、4号館(専
門学校棟)の改築工事を始め
ます。薬学部の大学院博士課
程設置に伴う研究室の増強、
2・4号館改築に伴う歯科衛
生学科、技工専門学校の一部
移転、保健室、学生食堂等を

お願いする次第です。

【「私学の厳しい環境」】
現在わが国は18才人口が1
20万人へ減少する中で、大
学数は250校増加したため
大学全入時代を迎え、さらに
志願者が東京、関西の大規模
校に集中するため、266校
(47%)が定員割れとなって
います。そのため単年度の学
納金収入等で経常的な支出を
まかなえない法人(赤字校)
は182校(35%)と増加し
ています。この様に私学を取
巻く厳しい環境の中で大学と
して最も重要な事は、学生に
とって「魅力ある大学」、「満
足出来る大学」にする為に、
教育内容を充実強化する事
です。しかも従来の「何を教
えるか」の教師の立場に立つた
ものから、「何を学ぶことが
出来るのか」の学生の視点に
立つた教育への転換が必要で
す。「学生がどの様なカリキ
ュラムに基づいて、どの様な知
識・能力を身に付ける事が出
きるか」を明らかにし、学習
目的、学習成果の明確化、単
位制度の実質化、成績評価の
厳格化等、学習成果の向上を
計り、社会の期待に応える学
力を具えた人材を育成する努
力が重要です。同時に新入生
に対する初年次教育、就職に
備えてキャリア教育等に全力
を注いでいく事も肝要です。

【「教育環境の改善」】
昨年、新学生会館(さくら
ホール)新設に次いで第一食
堂の改造新築工事が完成し、
三階建てのレストラン・多目
的ホール(けやきホール)が
スタートし、学生のキャンパ
スライフを一層快適にしてい
ます。さらに昨夏より一号館
前に教学センター新築工事を
開始しましたが、学生に一番
重要な教務部と学生部をキャ
ンパスの中央に新築移設する
もので、今夏に完成予定で学
生の利用が大変便利になりま
す。次いで学生保健センター
を現電算センターの建物に移
転し、学生の心身両面の保健
活動を一層充実させます。ま
た補元校地では図書館情報セ
ンターの耐震リニューアル工
事の完了に次いで、4号館(専
門学校棟)の改築工事を始め
ます。薬学部の大学院博士課
程設置に伴う研究室の増強、
2・4号館改築に伴う歯科衛
生学科、技工専門学校の一部
移転、保健室、学生食堂等を

ラオス人民民主共和国計画投資大臣 本学内のラオス名誉総領事館を表敬訪問

9月18日(金)、ラオス人民民主共和国のシンラヴァンラオス計画投資大臣をはじめとする計画投資省の幹部が、愛知学院大学楠元学舎内にあるラオス国名誉総領事館を訪問された。



計画投資省の方々とともに大臣は小出忠孝名誉領事に歓迎され、名誉領事館にて名誉領事はじめ、ラオス研究所(所長 引田弘道)の研究員と懇談された。

また、前田初彦教授よりコンピュータを応用した病理学習システムについてのプレゼンテーションが行われ、大臣一行は熱心に聞き入っていた。また、今後の両国の友好と交流についても話し合われた。

大臣は今回の日本側の対応にも感謝され、「末永く、友好が続くことを願い、または是非名誉領事館やラオス研究所

を通じてラオスのことを日本の皆様に周知していただきた」との声明を出された。更に小出名誉総領事は本学関係者のラオス国への訪問を要請された。

夕刻には、ウェスティンナゴヤキャッスルホテルにて小出名誉総領事主催の歓迎レセプションが開催され、日本政府代表の三浦裕子氏(外務省アジア大洋州局)や中部地方の企業代表の他、本学からは早川太学学監、亀山洋一郎名誉教授、野口英俊歯学部長、夏目長門教授らが参加し、日本企業によるラオス国の電源開発など種々の意見交換がなされ、終始、盛況に行われた。

第7回 全学FD研究会開催

愛知学院大学では平成15年にFD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会を設置し、大学の2大機能である教育と研究の発展について検討を進め、関係する諸機関と連携して、特に教育機能の改善をすることによって、本学の大学としての質的向上を図ることを目的として活動をしている。

その活動の一環として、昨年の研究会に引き続き、11月24日午後5時より日進キャンパス12号館G105教室において、第7回全学FD研究会が実施された。

立命館大学教育開発推進機構教授・東海大学名誉教授の岡高志氏を講師に招き、「PDCサイクルと今後のFD」と題し、平成20年12月に中央教育審議会より答申された「学士課程の構築に向けて」を受け、現在大学に求められている課題に対し、いかにして目標達成をするか。そのためには各課題に対しPDCサイクルをしっかりと構築し、実行することが必要不可欠であると提唱された。また岡氏は、学生の人材育成にも触れ、安岡氏の考える人材育成についても講演された。



われ、当日は多数の教職員が参加し、本学の教育に生かせるよう真剣に講演に耳を傾ける姿や、講演の後には熱心な質疑応答がなされた。

法学会主催講演会開催

10月27日(火)午後1時30分より、日進キャンパス6号館6501教室にて法学会主催講演会が開催された。この講演会は学生法律討論会と同日に開催された。

今回は、佐藤博史弁護士(足利事件弁護団)、菅谷利和氏を招き、「足利事件の真実―冤罪はなぜ起きたのか―」をテーマに講演が行われた。



足利事件についての経緯を話し、特に今回の事件とDNA鑑定との関連について、時系列と共に紹介した。

続いて佐藤氏の講演の後、菅谷氏が登壇され、自身が逮捕された日からの取り調べの状況、当時の心境を述べられ、最後に再審に向けた意気込みを訴え、聴講していた学生から喝采や拍手が送られた。

第28回 法学部学生法律討論会開催

法学会が法学部の学生を対象に行なっている学生法律討論会が、昨年10月27日(火)午前10時から日進キャンパス6501教室で開催された。この討論会は毎年実施され、



今回で28回目となる。高木敬一法学部長によるあいさつの後、事前に発表されている問題について、5名の立論者が各々の見解から意見を述べ、各立論者の発表の後、聴講の学生による質疑応答が行なわれた。

午後からは、講演会を挟んだ後、午後3時10分より討論会の成績発表・表彰式・講演会があり開会した。優勝者には学長杯・賞状、ならびに副賞として賞金3万円(図書券)・記念品が贈られた。受賞者は次のとおり。

優勝・駒澤 将太(3年)
準優勝・鷺見 梓(4年)
3位・長谷川 愛(3年)

愛知学院大学 入試日程 (問い合わせ: 入試センター)

試験区分	学部・学科	出願期間	試験日
一般入試	文・心身科学・商・経営・法・総合政策学部	2010年 1月6日(水)～1月22日(金) 締切日必着	2月1日(月)～2月4日(木) [注1]
	薬学部		2月1日(月)・2月3日(水) [注1]
	歯学部		2月3日(水)
	短期大学部		2月1日(月)・2月2日(火) [注1]
	文・心身科学・商・経営・法・総合政策学部		2月3日(水)・2月4日(木) [注1]
	文・心身科学・商・経営・法・総合政策学部		2月5日(金)
センター試験 利用試験	文・心身科学・商・経営・法・総合政策学部 薬・歯学部 短期大学部	2010年 1月18日(月)～2月5日(金) 締切日必着	1月16日(土) 1月17日(日)
	文・心身科学・商・経営・法・総合政策学部 薬・歯学部	2010年 2月15日(月)～3月2日(火) 締切日必着	1月16日(土) 1月17日(日)

[注1]: 試験日は出願時に選択。試験日が異なれば、同一学科および他学科の併願可能。

2010年度 入試スタート

本学の2010年度入試は、10月18日に実施したアドミッション・オフィス(AO)入試でスタート。11月15日の推薦入試を終了し、いよいよ入試本番の時期となる。

一般入試(前期・中期日程)は、教科や配点、解答方式などが異なる4つの試験方式を設けている。一方、センター試験利用試験では歯学部以外は本学独自の試験を課さず、センターの試験の結果により合格判定する。

入学試験の詳細は、ホームページAGU Campus Naviの「入試情報」に掲載。入試種別ごとの特徴や対策などの情報を掲載。

各試験の実施学部・日程は表の通り。

愛知学院大学大学院 入試日程 (問い合わせ: 大学院事務局)

研究科	出願期間	試験日
文学研究科・心身科学研究科・商学研究科 経営学研究科・法学研究科・総合政策研究科	2010年 1月19日(火)～1月27日(水) 締切日必着	2月9日(火) 文学研究科・心身科学研究科 法学研究科 2月10日(水) 商学研究科・経営学研究科 総合政策研究科
歯学研究科	2010年 12月14日(月)～1月6日(水) 締切日必着	1月18日(月)

バーチャルカンパニー大起業市場 in 愛知学院 開催

12月19日(土)、午前10時から午後4時30分まで、日進キャンパスにおいて、本学経営学部が主催となり、研究支援センター、入試センター、キャリアセンター共催、NPO法人アントレプレナーシップ開発センター、NPO法人起業支援ネットの後援のもと、「バーチャルカンパニー大起業市場 in 愛知学院」と題し、イベントが開催された。

我が国の起業意識の低さが叫ばれて久しく、起業家教育の必要性が唱えられ、ここ数年、さまざまな起業化教育がされてきたが、未だ決まっていた教育の仕組みはなく、模索が続いている。

「バーチャルカンパニー大起業市場」には3つの意味があり、第1にそれぞれ異なる起業家教育方法を、商品あるいはビジネスモデルという形で評価できる点、第2に異なる起業家教育であっても国際的基準から共通の理解を持たなければならぬ「知財教育」について、胸襟を開き議論できる場所を設けたこと、第3には何よりも学生自らが考えたアイデアを企業等の協力を得て商品化した成果を発表することに大きな意味がある。

改めて起業家教育を問えば、鍵は「場」にあると言える。今回のバーチャルカンパニー大起業市場が、起業家教育に参加する学生と支援者双方にとり、よき学びの場になった。

日本商業教育学会 創立20周年記念全国大会開催

日本商業教育学会創立20周年記念全国大会が、本学日進キャンパスにて、平成21年8月22日(土)、23日(日)に、全国から会員約150名が参加して開かれた。

今回の統一テーマは、「新しい商業(ビジネス)教育をめざして」で、大会会長は本学商学部長の尾崎眞教授、実行委員長は商学部小見山隆行准教授を務めた。

会の開催に当たり、小出忠孝学長の挨拶があり、商学部加藤勇夫客員教授が、「名古屋人の気質と経済」と題して、記念講演が行われた。その他、19の研究報告があり、熱心な討論が行われ、有意義な記念大会となった。



名古屋国税局による 特別後援会 開催

愛知学院大学と名古屋国税局の主催による特別講演会が、11月12日(木)午後1時30分から日進キャンパス12号館G105教室で開催された。

この企画は国税局の「税を考える週間」の一環事業として行なわれ、近い将来社会人となる大学生に対し、広く税についての理解を深めることを目的とし、本学での開催は今年で4回目。

今回は、名古屋国税局課税第二部長の石川祥浩氏により、「IT化・国際化と税—税務を取り巻く環境と国税局の取組」をテーマに行なわれた。

当日は吉田聡商学部准教授の冒頭の挨拶の後、講演が行なわれ、学生にとってはまだ実感のない「税」について分かりやすく事例を用いながら説明がなされた。当日は360名入る教室が満席となり、熱心に講師の話に耳を傾けていた。



日本物流学会 第26回全国大会が 開催される

日本物流学会第26回全国大会が、平成21年9月10日(木)から12日(土)、本学日進キャンパスにおいて開催された。

昨今の物流やロジスティクスに対する関心の高まりを背景に、今回の大会の参加者は日本全国だけでなく、中国や韓国も含めると延べ350名にも達し、盛況のうちに無事全日程を終了した。

今回の統一テーマは、「物流・ロジスティクスにおけるCSR」で、本学経営学部の丹下博文教授が大会実行委員長を務め、11日には、けやきテラス3階ホールにて小出龍郎副



30年の時を経た タイムカプセル開封式

1979年の国際児童年を記念し、愛知県教育委員会と毎日新聞社が愛知県長久手町の愛知青少年公園(現在は愛・地球博記念公園)に埋設したタイムカプセル2基の開封式が、埋設から30年を経た11月20日(金)行われ、開封式典には小出忠孝学院長・学長も出席し、タイムカプセル開封のテープカットを愛知県知事・愛知県議会議員・愛知教育大学学長らとで行った。

このタイムカプセル2基のうち1基は、愛知学院と毎日新聞社・久保田鉄工(現 クボタ)の協力のもと製作され、耐蝕性ステンレス製で、高さ80センチ、直径60センチの球形。重量275キログラムのカプセル。

タイムカプセルに収められていたのは、「30年後の子供たちに贈るメッセージ」や東海3県の小中学生が書いた作文「わたしの21世紀」などで、本学の澄田正一文学部教授(当時)の「子供たちへ贈るメッセージ」も収められていた。

30年間の子供たちのメッセーじや子供たちの作文が収められていたタイムカプセルは、愛知高校のある光丘キャンパスで次の30年後を考えるミニメントとして保管・展示されることとなった。

第7回メタロチオネンおよび メタルバイオサイエンス研究会 において 薬学部 本田 晶子助教が 優秀ポスター賞を受賞

平成21年10月16日から17日に東京大学で開催された第7回メタロチオネンおよびメタルバイオサイエンス研究会において、本学薬学部衛生薬学講座本田晶子助教が優秀ポスター賞を受賞し、表彰式が執り行われた。

この優秀ポスター賞は当研究会におけるポスター発表に際して、研究会参加者の投票によって選考される賞で、本田助教の演題名は「メタロチオネン—Ⅲ欠損マウスにおけるカドミウム精果毒性の感受性」。

今後、本田助教の益々の活躍が期待される。



平成21年度秋季公開講座 「再発見! アジアの魅力と日本」 閉幕

平成21年度の秋季公開講座「再発見! アジアの魅力と日本」は、12月5日(土)、最終回の「独立後60年のお自由を束縛され民主主義を求めて苦闘するビルマ—自由世界はビルマ市民に力を与えることができるのか?」(山旗張星允・総合政策学部教授)の講座を終えた後、小出忠孝学長の挨拶があり閉幕した。

秋季公開講座の申し込みは421名の内、抽選の上366名が受講し、毎回多くの方が出席し、6回の講義のうち4回以上出席して終了証を授与されたのは323人にとった。

平成22年度は、春季の総合テーマ「生物多様性と環境」、秋季の総合テーマ「名作を通じた異文化理解」を開催する予定。春季講座と同一テーマによるラジオ放送講座も、今年度と同様に東海ラジオ、静岡放送、北陸放送の3局から放送の予定。

来年度の講師とテーマは左の表のとおり。



平成22年度春季公開講座 総合テーマ「生物多様性と環境」(仮)

学部	講師	個別テーマ(仮題)
心身科学部	上野 有紀 講師	遺伝子組換えに関することについて
教養部	清 忠師 教授	メタンハイドレートについて
教養部	山名 賢治 准教授	燃料電池について
薬学部	河村 好章 教授	遺伝子組換え実験の安全性や管理方法
歯学部	高田 靖司 講師	都会の中の自然 —野生生物との共生をめざす—
総合政策学部	村田 尚生 准教授	生物多様性からみた「里山」

平成22年度秋季公開講座 総合テーマ「名作を通じた異文化理解」(仮)

学部	講師	個別テーマ(仮題)
文学部	鈴木 俊次 教授	イギリス文学
文学部	松崎 博 准教授	アメリカ文学
法学部	堅田 研一 教授	今村仁司「社会の哲学」を読む
教養部	堀田 敏幸 教授	ボードレールについて
教養部	福山 悟 教授	カフカについて
教養部	勝股 高志 教授	三国志(レッドクリフ)について

東海大地震に備え 地震災害避難訓練を実施

12月9日(水)12時20分より13時まで、日進キャンパスにおいて地震災害避難訓練が実施された。

当日12時20分に学内放送で地震発生、全館放送と同時に約4千名の学生・教職員が参加し、授業中の学生や業務中の教職員が一斉に第1・2・3避難場所に避難を開始し、一部の通路で渋滞も起きたが、事前に訓練実施が通達されていることもあり、担当の教職員が誘導にあたり、指定避難場所に12時40分に無事移動し、避難訓練が終了した。

避難訓練終了後、尾三消防署員によるAEDの使用説明が各避難場所で行われ、最後に大野栄人副学長、竹市良成教務部長、引田弘道入試センター部長よりそれぞれ各避難場所にて講評があり、13時にすべての訓練が終了した。

日進キャンパスは日進市の災害時の一時避難場所としても指定されており、クラッカーや水、毛布なども大量に備蓄し、万一の災害に備え防災体制の確立に努めている。常日頃からの地震に対する警戒を意識し、いつ来てもおかしくない東海大地震から身を守りましょう。



第3回 商学部ゼミナール有志による 校歌練習会開催

商学部ゼミナール有志による校歌練習会が11月26日(木)3年生対象14:00-15:00、4年生対象15:10-16:40、7503教室にて行われた。

今回の練習は本学部卒業生の兄山祐司氏に依頼したところご快諾いただき、親切丁寧な指導をいただき、当日は小池商学部教授のハーモニカに合わせて歌った。3年生の参加者は小見山ゼミ、近藤ゼミ、小池ゼミ、伊藤ゼミ、尾崎ゼミの58名と教員5名、計63名。4年生参加者は小見山ゼミ、小池ゼミ、伊藤ゼミ、尾崎ゼミの42名と教員4名、計46名。短時間の練習ではあったが、3、4年生とも校歌を歌えるようになり、参加者の感想は、「校歌の練習は良かった」、「さらに歌えるようにしたい」が多く占めた。

全国の大学でも自らの歴史や特色を教える「自校教育」が広がっており、「自校教育」の一環として今後も校歌練習会を続けたいと商学部では計画している。

平成22年度 愛知学院大学開放講座 2月15日から受講受付開始

地域や社会に向けて、大学の「知的財産」を広く還元するため、各学部・学科で開講している授業科目を一般社会人に開放し、興味や目的に合わせて自由に受講できる講座を開講しています。

平成22年度の開放講座の出願期間は2月15日(月)から27日(土)で、募集人員は科目ごとに制限人数が定められています。受講資格として、高等学校を卒業した方、または本学が同等以上の学力があると認めた方で、聴講料は1科目1万円(半期)。聴講決定は3月9日(火)で、4月2日(金)オリエンテーションを予定。

講座の詳細を記載した案内のご請求は、
愛知学院大学教務課「開放講座」係
(☎0561-73-1111)までお問い合わせください。

日進キャンパス 受動喫煙防止キャンペーン実施

10月26日(月)から11月7日(土)の2週間にわたって、日進キャンパスでは「受動喫煙防止キャンペーン2009」が実施されました。昼休みの時間に、揃いの黄色いジャンパーを着用し、学生と教職員がいっしょになって喫煙マナーの向上をアピールしました。平成19年にスタートした「受動喫煙防止キャンペーン」も今年で3年目となりました。今年のキャンペーン参加者数は、昨年に比べ約1000人増の延445人に達しました。日進キャンパスでは平成15年に建物内が禁煙となり指定喫煙場所以外での喫煙が禁止されています。しかしながら、

指定喫煙場所以外で喫煙をする学生は少なくなく、歩行喫煙や路上に捨てられた吸殻もしばしば見かけます。残念ながらタバコの煙とにおいが嫌いな人や、吸殻が捨てられているところを過剰に気にする人の気持ちを理解できない学生がいるようです。キャンベーンでは、吸殻拾いやゴミ拾いといったクリーン活動もしました。「一人ひとりが少し気をつかえばもっと学校がきれいになると思います」というのが参加した学生の感想です。

誰もが気持ちよく、爽やかな空気の中でキャンパス生活を過ごりたいと思っています。喫煙者にはぜひともマナーを守っていただくとともに、喫煙者が一人でも減ることを願っています。



保健センター 大澤 功

大本山総持寺 安居説明会を実施

12月9日(水)午後1時40分より、日進キャンパス本部棟3階第2会議室において安居説明会が実施された。はじめに内田友宏事務局長の挨拶の後、曹洞宗大本山総持寺単頭(たんとう)・鈴木永一老師による安居説明が行なわれ、当日は10名の掛搭(かた)・志願者が参加した。老師からは、「本山での修行とは何か。」「『自我』とは何か。」「といったことをわかりやすく話され、出席した寺院の子弟も熱心に老師の話を聞き入っていた。



※ 僧が一定期間、外出を避けて修業に専念すること
掛搭：僧堂に入門すること

道元禪師の「いま」

生とあきらめ死とあきらむるは、佛家一大事の因縁なり

(大学副学長・文学部教授 大野栄人)

この言葉は、「正法眼蔵」諸悪莫作の巻に出てくる言葉です。私どもは、生と死を分断して、死は遠く彼方にあるものとして現実を生きています。今日もあり、明日もあると思うから、今日一日を本気で生きることができないのです。

ここに言う「生死」とは、生と死を分断して捉えるのではなく、生死を一体のものとして捉えられています。存在する全ての生命体は、過去から現在へ、現在から未来へと転変していくのではなく、三世は存在せず、ただ「いま」があるのみです。

その「いま」も、一瞬に過ぎ去って過去となるので、生死は一瞬の中にしかないのです。この一瞬をいかに生きるかというところが、人生の命題なのです。つまり、生死は私どもの一呼吸の中にしかありません。入息の時に生き、出息の時に死んでいます。一瞬の生命が偶然に連続して、今ここにこうして生きているのです。

我々は、生きるために生きるのではなく、死ぬために「いま」を生きています。我々の生きている世界は、常に現象化しています。我々はこの無情の現実をいかに

生かればよいのでしょうか。そのためには、まず、「死」を前提とした人生の設計図を、改めてつくり直さなくてはなりません。

私ども一人ひとりは、何をするために生命が与えられているのか。人々のために何ができるのか。このことを明らかにすることが、仏教の教えであり、目的にほかなりません。改めて人生の設計図を描き直し、その目的を達成するために、「いま」を実行しなければなりません。

我々に与えられた時間は、「いま」しかありません。

岡トカイ
 中央工機株
 豊川信用金庫
 ㈱東陽
 ㈱ナゴヤキャッスル
 ㈱397979-2名古屋
 ト39生活協同組合
 ㈱協成
 ㈱日伝
 安器証券㈱
 三甲㈱
 ㈱Altac
 デュプロ販売㈱
 ㈱東洋
 丸善㈱
 丸太運輸㈱
 ㈱メディアート 中部支社
 森定興商㈱
 名鉄ゴールデン航空㈱
 モリリン㈱
 ㈱八神製作所
 リゾートトラスト㈱
 ㈱リオ横山ホールディングス
 リコ-中部㈱
 監視庁
 静岡県警察本部
 長野県警察本部
 瀬戸市役所
 日進市役所
 長久手町役場
 豊橋市役所

平成21年度 クラブ優勝祝賀会開催

優勝祝賀会

愛知学院大学後援会 愛知学院大



平成21年度クラブ優勝祝賀会が12月2日(水)に開催された。会場となった日進キャンパス・学院会館には、今年度(一部に前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を収めた団体・個人のクラブ部員をはじめ、大学関係者、大学後援会本部役員など多数の参加者が集まった。

招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海・県大会にて優勝となった団体、また個人の部では、団体の部と同等の基準のほか、最優秀選手賞やベストナイン等の受賞を受けた者など、それぞれの活動において顕著な成績を収めたものが選出され、今年度においては31団体126名が招待を受けた。

開式に当たり小出学長より学生諸君の健闘を讃える挨拶、長橋國和・大学後援会課外活動部長の祝辞の後、クラブ顧問部長代表として、野口俊英歯学部部長、クラブ学生代表として、陸上競技部から石塚誠選手(心身科学部健康科学科4年)が謝辞を述べ、黒神聰学生部長による乾杯の音頭があり祝賀会が始まった。

祝賀会中、来年度より京都サンガF.C.に加入する、ハウバード・ダン君の挨拶や、各クラブの今後の活躍を祝し、出席した各クラブの学生諸君については、部員一丸となつてさらなる成績の飛躍を目指すことを誓ってくれたものと思われる。

その後、全員での校歌斉唱や大学後援会・青山副会長の発言による万歳三唱などが行われるなど、和やかな雰囲気の中で進行された後、閉会となった。

学生のみなさんについては、Eメール「sodan@dpc.agu.ac.jp」でも相談を受け付けています。

心身科学部健康科学科 スポーツ祭 開催

11月2日(月)に、「心身科学部健康科学科スポーツ祭」が開催され、約300名の健康科学科学生・教員が参加した。

健康科学科の学生自らが主体となって実行委員会を作り、高田正義准教授をはじめ教員はサポートするという形で行われた。

日頃、健康や運動・スポーツについて勉強している学生が、もう一度、健康や運動のスポーツの重要性や楽しさを実感し、笑顔が絶えない学科になろうという趣旨で行われた。さらには、健康科学科が他学科の目標となる学科になりたいという思いが込められていた。

午前はバスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ドッチボールの種目別に分かれ、各競技を行った。午後には全員が第1グラウンドに集まり、綱引き、障害物リレーなどが行われた。結果は4年生が優勝、1年生が2位、3年生が3位、2年生が4位となり、学年の結束力が勝敗の決め手となった。各会場は多くの歓声に包まれ、真剣さの中にも大きな健康の笑いが起こった。健康科学科の学生にとって笑顔の絶えない思い出に残る1日となった。



硬式野球部 2年連続14度目の 神宮大会進出

11月8日(日)瑞穂球場において、愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦が行われ、愛知勢対決となった決定戦は、本学硬式野球部がリーグ戦で後座を押し上げた愛大(愛知大学リーグ1位)に競り勝ち、2年連続14度目の神宮への切符を手にした。本学硬式野球部は、2年前の王座決定戦では、秋季リーグ優勝を果たしながら神宮への切符を手に入れることができなかった苦杯を晴らした。

今季リーグでは最終節の中部大戦で勝利すればリーグ2位で王座決定戦出場、敗戦すればリーグ5位となり2部への入替戦と瀬戸際まで追い込まれたが、この一戦に勝利しチーム状態は急上昇し、王座決定戦ではリーグ戦での愛大戦の雪辱を晴らした。

リーグ戦閉幕後発表された表彰選手には、最優秀防御率賞、敢闘賞に溝口雅人投手(商学部商学科4年)、ベストナインには、前田英雄外野手(心身科学部健康科学科4年)がそれぞれ選ばれた。

明治神宮野球大会では、11月16日(月)明治大(東京6大学1位)と対戦し、3-0で惜しくも敗れた。

著書紹介

『キーワードコレクション 教育心理学』

二宮克美・子安増生(編著)

本書は、次世代を育てる大切な役割を持つ「教育」。教育心理学が役立つ場面や条件とは?50のキーワードでわかりやすく解説。教師や教員をめざす人だけではなく、教育に関心のあるすべての人のためのエッセンス集。著者は総合政策学部の二宮克美教授・子安増生(編著)。新曜社刊。2,400円(税抜)

『口腔の病態を診る』

監修:長谷川博雅

本書は、歯科医向け専門雑誌の好評連載シリーズを再編集して書籍としてまとめられたもので、イラストを中心に様々な病気について解りやすく解説されている。歯科医学生のみならず一般の読者にも読みやすいように解説をできるだけ平易にして紹介しており、歯科診療のチェアサイドでの説明にも使用可能な内容になっている。

監修者は長谷川博雅氏。共著に歯学部口腔病理学講座の前田初彦教授。デンタルダイヤモンド社刊。本体6,930円(税込)

『スタンダード口腔病態病理学』

編集・執筆:賀来 亨 榎本恵一

本書は臨床歯科医学の基礎であり、歯学教育課程において重要な位置を占める病理学・口腔病理学の成書となる書籍である。最新版の歯科医学教授要綱、歯科医師国家試験出題基準にできるだけ沿うように編集されており、歯学部学生の教科書として、また臨床家の参考書として有用な一冊である。

編集・執筆:賀来 亨 榎本恵一。共著に歯学部口腔病理学講座の前田初彦教授。学建書院刊。本体9,030円(税込)

『季刊日本思想史75号 近代仏教』

日本思想史懇話会編集

本書は近代仏教に関する最新の成果を集めた論文集。とくに韓国、アメリカにおける日本仏教研究を紹介した論文も掲載されており、研究者の国際化と学際化が期待される分野である。本書は文学部の林淳教授・大谷栄一氏による責任編集。ぺりかん社刊。

愛知学院大学

ハラスメントの防止および 処理に関する規程の制定について

従前より、「セクシュアル・ハラスメントの防止および処理に関する規程」が制定されていましたが、昨今、世間で問題となっている①セクシュアル・ハラスメント(相手が不快と感じる性的言動)、②パワー・ハラスメント(職場における優位的立場を利用しての言動、指導)、③アカデミック・ハラスメント(教育研究上優越的地位を利用しての言動、指導)のハラスメントに対して、本学の学生・教職員および本学と関係のある方を対象として、より良い快

- 万一、ハラスメントを受けてしまったら、
- 加害者に「NO」の意思を伝える。
 - 嫌なことをされたら、すぐに周囲の人に話す。
 - あなたの受けたハラスメントについて記録を付けておく。
 - 学生相談室(本部棟地下)に相談する。教職員の場合はハラスメント委員に相談する。
 - 相談員およびすべての関係者には守秘義務を課しています。相談内容が外部に漏れることは一切ありませんので、安心して相談してください。

学生のみなさんについては、Eメール「sodan@dpc.agu.ac.jp」でも相談を受け付けています。